

新型コロナウイルス感染症対策

インクルーシブフットボールフェスタ 開催ガイドライン

(改訂)2021年11月30日
〒113-8311 東京都文京区サッカー通りJFAハウス内
一般社団法人 日本障がい者サッカー連盟

目次

1. はじめに
2. 開催における前提条件
3. 感染拡大予防対策:全体
4. 感染拡大予防対策:事前対応
5. 感染拡大予防対策:当日受付
6. 感染拡大予防対策:参加者への対応
7. 感染拡大予防対策:会場設営
8. 感染拡大予防対策:スタッフの管理等
9. 感染拡大予防対策:活動時
10. 感染拡大予防対策:事後対応
11. 配布用簡易版ガイドライン

1. はじめに

一般社団法人日本障がい者サッカー連盟(JIFF)は、共生社会の実現に向け、障がいの有無にかかわらず一緒にサッカーを楽しみ、互いの心のバリアを取り除く「インクルーシブフットボールフェスタ」を開催しています。東京では2016年の設立以来、毎年12月に開催し、2018年度には初めて広島での開催が実現しました。地域におけるインクルーシブな場づくりの事例として推進し、今後の全国展開を目指しています。

新型コロナウイルス感染症の影響により、スポーツ界を取り巻く環境も大きく変化している今、私たちは新しい生活様式のなかでスポーツのある日常を取り戻し、活動を積み重ねて前進していきます。「インクルーシブフットボールフェスタ」についても、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、参加者およびスタッフの健康と安全を第一に、状況に応じた工夫をして開催してまいります。

1. はじめに

本ガイドラインは、JIFFのイベント事業（インクルーシブフットボールフェスタ）を再開するに当たっての道筋や基準を整理し、事業再開時及び再開後における感染拡大予防のための留意点をまとめたものです。

現段階のスポーツ協会や日本サッカー協会等が作成するガイドラインや、得られている知見等に基づき作成しておりますが、JIFFのイベント特性を考慮し以下のような点を新たに追加し、JIFF独自のガイドラインとして使用して参ります。

【JIFFイベント独自の措置】

- 備品の共有が多くなってしまうため、障がい者サッカー体験会の実施については慎重に検討をすること。
- プログラム全体の活動時間を90分以内とすること。
- 1コート最大競技者15名までの滞在とすること。
- 参加者にはマイボール持参を呼びかけること。
- 試合前の握手はお辞儀のみとすること。

2. 開催における前提条件

以下の4点を開催における前提条件とし、本ガイドラインに示される事項を遵守しながらイベントを実施いたします。

- 開催場所が特定警戒都道府県、または特定警戒都道府県以外の特定都道府県に該当をしないこと。
- 新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じること
(スポーツ庁・日本スポーツ協会・日本障がい者スポーツ協会・開催施設等のガイドラインに則り、対策する)
- 障がい者サッカー7競技団体から開催地域におけるイベント活動自粛や制限等がないこと
(全国大会・日本代表活動への制限は含まない)
- 屋内で開催の場合、参加者数は 100 名以下、かつ定員の50%以下で実施を行うこと

3. 感染拡大予防対策:全体

	対応	具体的な対策
総合的対策	感染者および濃厚接触者、感染疑いのある方(発熱等の症状がある方)が来場しないよう確認すること	- 募集フォームに参加者遵守事項の明記、及び参加における確認事項欄を設ける - 発熱等が軽度であっても、咳・咽頭痛などの症状がある場合は入場しないように呼びかける - 前日までにスタッフの過去2週間の健康状態をチェックする - 当日スタッフは自宅にて抗原検査を行い、更に会場到着時にも健康チェック及び検温を行う
	無症状で感染させる可能性があることを考慮し、対策すること	- 参加者にはマスク(品質の確かな、できれば不織布)の着用やボールの持参をお願いする - 予備のマスクを準備する - 聴覚障がいのある参加者がいる場合、スタッフはマスクではなくマウスシールド等を使用する
空気感染対策	十分な換気を行うこと	- 開催施設の換気を徹底する - 窓による換気の場合、30分に一回以上、数分間程度、窓を全開する
飛沫感染対策	施設収容率50%以内とし、来場者同士の距離をできるだけ2m、最低1m確保すること(待機場所の密集にも注意) (障がい者の誘導や介助を行う場合を除く)	- 見学スペースには前後左右1.5~2m間隔で印をつけ、見学者同士が密にならないようにする - 通路・動線は広く設け、前後左右の間隔をあける
	イベント中に大きな声で会話、応援等をしないこと	活動中に、大きな声で応援等を行わないよう呼びかける
接触感染対策	人と人との接触をできる限り避け、こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること	- 出入口を含め会場内の複数箇所にアルコール消毒液を設置する - 手洗い場にハンドソープやペーパータオルを設置する - 参加者同士が握手や抱擁などをしないよう注意する - 当日の現金授受を行わない
運動時の対策	試合を除く、アクティビティや運動をしていない時間は、周囲の人となるべく距離を空けること(介助者や誘導者の必要な場合を除く)	- 試合前の握手はお辞儀のみとする - 握手、抱擁などは行わない - 点が決まっても密集をしないようにする - スタッフは、マスクを着用する - 飛沫防止のため笛ではなく、電子ホイッスルを使用する

4. 感染拡大予防対策：事前対応

以下、参加者が遵守すべき事項を募集時に明記し、これを遵守できない参加者には、他の参加者の安全を確保する等の観点から、イベントへの参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあり得ることを事前に周知する。

① 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる。

ア 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）

イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

ウ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

② マスク（品質の確かな、できれば不織布）と可能な限りマイボールを持参すること（活動中以外や会話をする際にはマスク着用）。

③ 厚生労働省から提供されている、新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）や各地域で取り組まれている通知サービスを活用すること。

④ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。

⑤ 試合を除く、アクティビティや運動をしていない時間は、他の参加者、主催者スタッフ等との距離（できるだけ2mを目安に（最低1m））を確保すること。（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く。）

⑥ イベント中に大きな声で会話、応援等をしないこと。

⑦ 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。

⑧ イベント終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

5. 感染拡大予防対策：当日受付

イベント当日の受付時に参加者が密になることへの防止や、安全にイベントを開催・実施するため、以下に配慮して受付を行う。

- ① 受付窓口には、手指消毒剤を設置すること。
- ② 参加者は事前に決定し、当日の飛び入り参加は断ること。
- ③ 当日の現金授受を行わないこと。
- ④ 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように、貼紙などにより注意を促すこと。（状況によっては、発熱者を体温計などで特定し入場を制限することもある。）
- ⑤ 入場時の検温を行い、有症状が発覚した場合には入場を制限すること。
※ 発熱者・有症状者の入場は断る等のルールについてイベント開催前に明確に規定する。
※ 当該規定内容の周知がイベント開催までの間に十分に図られるようにする。
- ⑥ 参加者が距離をおいて（できるだけ2mを目安に（最低1m））並べるように目印の設置等を行うこと。
- ⑦ 受付を行うスタッフには、マスク（品質の確かな、できれば不織布）を着用させるとこ。
※ 聴覚障害を持つ方への対応をする場合等は、マウスシールド等の着用も考えられる。
- ⑧ 次の注意事項が記載されたプログラムを配布すること。
 - ・活動中に、大きな声で応援等を行わない。
 - ・タオル、飲料ボトルなどの共用はしない。
 - ・会場内での水分補給以外の飲食は、極力避ける。
 - ・ゴミは全てビニール袋に入れて密封し、持ち帰る。

6. 感染拡大予防対策：参加者への対応

①マスク等の準備

- ・参加者がマスク(品質の確かな、できれば不織布)を準備しているか確認すること。
- ・参加の受付、着替え、表彰式等の運動・スポーツを行っていない間については、マスク(品質の確かな、できれば不織布)の着用を求めること。なお、運動・スポーツ中のマスクの着用は参加者等の判断によるものとするが、マスクを着用しない場合は、会話を控え、咳エチケットを徹底するように注意を促すこと。

②イベント参加前後の留意事項

- ・イベントの前後のミーティングにおいても、三つの密を避けること。
- ・会話時にマスク(品質の確かな、できれば不織布)を着用するなどの感染対策に十分に配慮すること。
- ・イベント前後での懇親会の開催を控えること。

7. 感染拡大予防対策：会場設営

●諸室、会場

- ①コート出入口にアルコール消毒液を設置する。
- ②ドア及び窓は可能な限り開放し、3つの密が発生する環境を阻止し、ドアノブ等を介した接触感染を防ぐ。
- ③見学スペースには前後左右 1.5～2m間隔で印をつけ、見学者同士が密にならないようにする。
- ④通路・動線は広く設け、前後左右の間隔をあける

●トイレ

- ① 便器の蓋を閉めて汚物を流すよう表示する。
- ② 手洗い場にはポンプ式液体または泡石鹸を用意する。
- ③ 「手洗いは30 秒以上」等の掲示をする。
- ④ 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル(使い捨て)を用意する。

●更衣室・ロッカールーム

- ① 広さにはゆとりを持たせるため、一度に入室する利用者の数を 10名に制限する。
- ② 各部の間の休憩時に複数の利用者が触れると考えられる場所(ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、椅子等)については消毒する。
- ③ 換気扇を常に回し、できる限りドア、窓を開放して換気を行う。
- ④以下更衣室等利用者の注意事項を掲示する。
 - ・ 利用者はマスクを着用し、会話を最小限に留める。
 - ・ 利用者はロッカールームの滞在時間を短くするため着替えに限定する。
 - ・ 利用者はシャワーを交代で使用し、密集を避ける。

8. 感染拡大予防対策：スタッフの管理等

●ベントの主催者自身についても、感染症の拡大を防ぐため、スタッフの管理等について以下の事項を実施すること。

- ① 感染リスクが高まる「5つの場面」、「新しい生活様式」等の案内物を活用して、スタッフに対して新型コロナウイルス感染症予防管理対策を周知・徹底すること。
- ② 普段から健康状態を把握し、2週間前からは主催者が用意する健康チェックシートを活用し、健康状態を記録すること。
- ③ 発熱又は風邪等の症状がみられるスタッフについては、出勤自粛を図り、受診・相談センターやかかりつけ医などに適切に相談するように促すこと。
- ④ ワクチン接種については、厚生労働省HPの「新型コロナワクチンについて」等を参照すること。
- ⑤ イベント当日自宅にて主催者の用意する抗原検査を実施すること。
- ⑥ イベント準備のための事務作業等を行う場合は、業務に支障とならない範囲で、テレワーク等遠隔業務の実施を積極的に検討すること。
- ⑦ 会議等を行う場合は、オンラインでの実施を検討すること。やむを得ず対面で会議を実施する場合、三密の回避、換気の徹底、身体的距離の確保、時間を短くすること、マスク(品質の確かな、できれば不織布)着用に留意すること。

9. 感染拡大予防対策：活動時

- 十分な距離の確保と接触の回避：

- ① 開閉会式を簡略化し、密集を避けること。
- ② 試合を除く、アクティビティや運動をしていない時間は、感染予防の観点から、参加者及びスタッフは周囲の人となるべく距離を空けること。（介助者や誘導者の必要な場合を除く。）
- ③ 握手、抱擁などは行わない。
- ④ 点が決まっても密集をしないようにすること。
- ⑤ スタッフは、マスク（品質の確かな、できれば不織布）を着用すること。
※聴覚障害を持つ方への対応をする場合等は、フェイスシールド等の着用も考えられる。
- ⑥ 飛沫防止のため笛ではなく、電子ホイッスルを使用すること。
- ⑦ 写真撮影は全体写真ではなく、十分に距離が保てるグループ写真に留めること。
- ⑧ 各部の間に備品の消毒を行うこと。
- ⑨ 備品の共有が多くなってしまうため、障がい者サッカー体験会の実施については慎重に検討をすること。
- ⑩ プログラム全体の活動時間を90分以内とすること。
- ⑪ 1コート最大競技者15名までの滞在とすること。
- ⑫ 試合前の握手はお辞儀のみとする。

10. 感染拡大予防対策：事後対応

- 万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取り扱いに十分注意しながら、イベント当日の参加者から取得した書面や健康チェックシートを、保存期間（少なくとも1ヶ月）を明記した上で保存しておく。
- イベント終了後に、参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針について、開催自治体の衛生部局とあらかじめ検討しておく。
- イベント参加後に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は直ちに日本障がい者サッカー連盟に連絡をしていただくよう、参加者及びスタッフへ事後連絡を行う。

11. 配布用簡易版ガイドライン

JIFF イベント参加ガイドライン 抜粋



⑤ イベントへの参加方針 ⑤

自宅で検温し 発熱・体調不良がないか 健康状態を確認 	健康チェックシートを 記入し必ず提出 	マスクを着用・携帯し イベントへ参加 
アクティビティ中でも こまめに手指消毒 	アクティビティ中以外は 一定の距離を維持 1.5~2m 	セレモニー・表彰は 省略・簡素化 
持っていれば マイボール持参 	更衣室利用はできるだけ 避け着替えは自宅で 	イベント参加時間は 90分以内を厳守 
大きな声で 応援等をしない 	各種打ち合わせは 少人数で短時間にて実施 	ゴミは会場に捨てない 自宅へ持ち帰る 

⑥ イベントへの参加基準 ⑥

- 参加当日は37.5℃を超える発熱はなく健康状態も良好であること
- 参加当日より遡り1週間以内で37.5℃を超える発熱・体調不良がないこと
- 参加当日より遡り1週間以内に接触確認アプリで陽性者との接触が通知されていないこと
- 参加当日も接触確認アプリで陽性者との接触が通知されていないこと

Copyright © 2020 JIFF, Tokyo, Japan. All Rights Reserved.